

The background of the entire page is composed of various hand-drawn architectural floor plans and site plans. These drawings are in a sketchy, illustrative style, showing rooms, furniture, and outdoor spaces like trees and lawns. The drawings are layered and semi-transparent, creating a collage effect. The colors used in the drawings include light blue, yellow, orange, and green.

時空読本

小学生の頃から描き続けた建築

ゆう建築設計の建築家

小林 宥見佳

卒業設計

「よき生を学ぶ・ワークショップを用いた脱施設化提案 -」

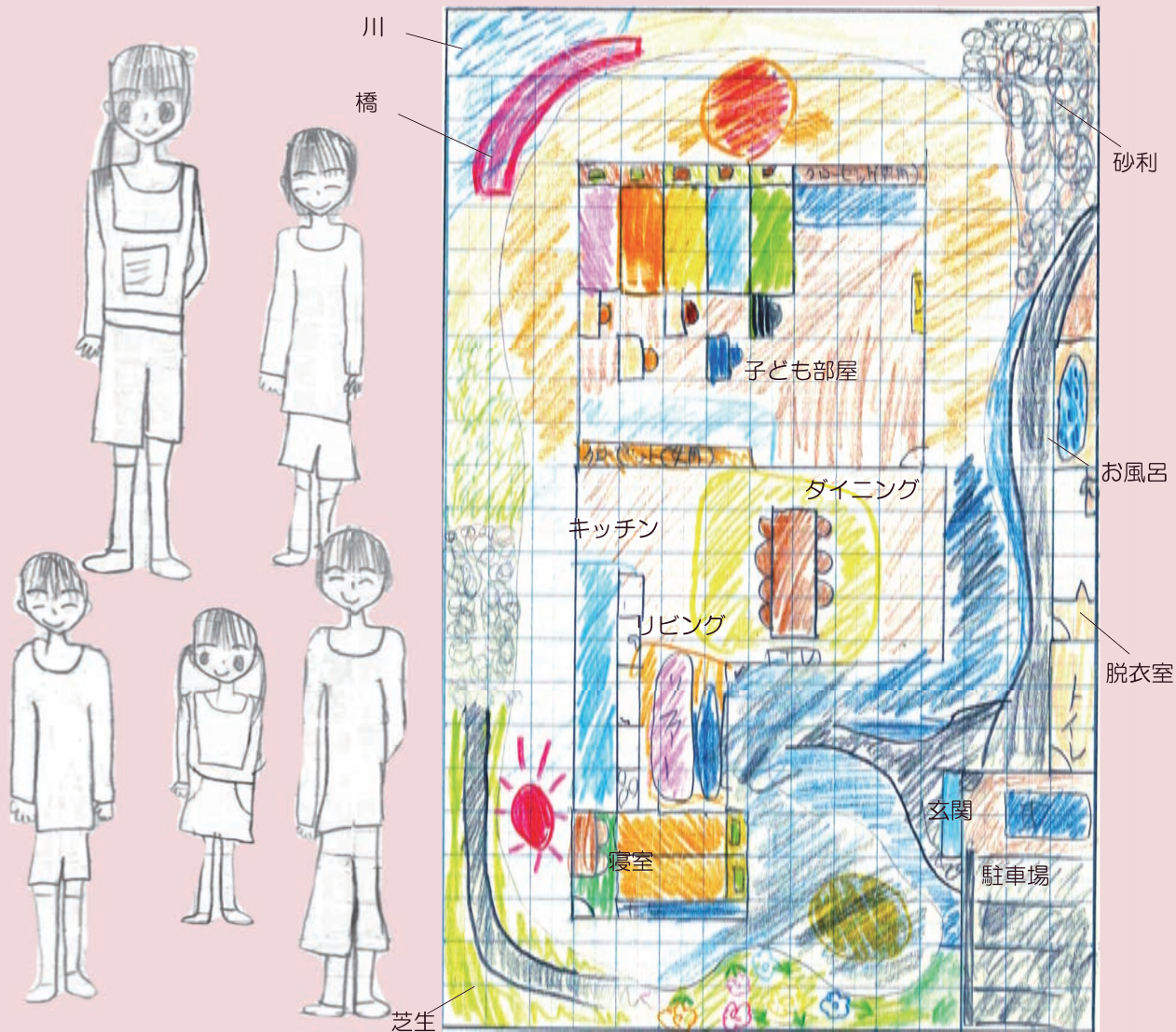
平面図

小学生の頃、ままごと遊びをするために、校庭に大きく部屋の間取りを描きました。いつからか、ままごと遊びをすることより、様々な建物の間取りを考えることに面白さを感じ、毎日憑りつかれたように図面を引くようになりました。

小林 宥見佳



小学生の頃から書き溜めたスケッチブック



この住宅に暮らす子どもたち

小学 2 年生の頃に描いた住宅のスケッチ

住宅に住む家族の構成、建物建てる敷地形状、周辺環境などを考えてスケッチをしていました。

医療法人翠光会

まつもと皮膚科クリニック スタッフ棟の増築は

ゆう設計の若手建築家7人のスケッチから始まった



現在のまつもと皮膚科クリニック

京都府福知山市のまつもと皮膚科クリニックでは、現在女性30人が働いており、今後増えることが予想されます。既存の建物では、患者、スタッフの増加により、空間が手狭となってきたいました。この環境を良くすることを目的とし、スタッフ棟を増築することとなり、ゆう設計の若手建築家7人がスケッチをしました。

そのスケッチをもとに、松本理事長とゆう設計設計統括の木下が打合せを行い、最終案を決定しました。



配置図兼既存1階平面図

私のスケッチ

スタッフ棟で私が実現したかったこと

スタッフ、副院長それぞれが居心地良く、息抜きのできる空間をつくりたい

休み方

立ち仕事の多いスタッフが利用するスタッフ棟のため、休息スペースは靴を脱ぎ、足をリラクセスさせることができる良いのではないかと考えました。

また、休憩時間は昼食をとったり、仮眠をとったりウォーキングをしたり様々だとお聞きしました。そのため、個人で利用できるスペース、スタッフ同士で会話ができるスペースなどの、いくつかの使い方ができるような空間が必要であると考えました。

仕事への切り替えの場所

スタッフが仕事前に歯磨きをしたり、お化粧や身だしなみを整えることがあるため、広く明るいパウダールームがあると良いと考えました。

朝出勤をして、更衣室で着替え、パウダールームで身だしなみを整え職場へ向かう、この流れができるとより良い空間になるのではない、プランを検討しました。

スタッフとの繋がり方

スタッフは女性30人、男性は副院長のみのため、女性の空間に入って行くにくりあります。

スタッフと副院長が互いに気にすることなく休める空間であるが、互いの存在は感じられるような空間を検討する必要があります。スタッフと副院長が休憩するプライベートな空間と、人が動く気配や声を感じられ、簡単な会話ができる空間、仕事をする空間、これらの中間領域があると良いと考えました。



小林 宥見佳

土間をきっかけに

スタッフと理事長、副院長が緩やかに繋がる

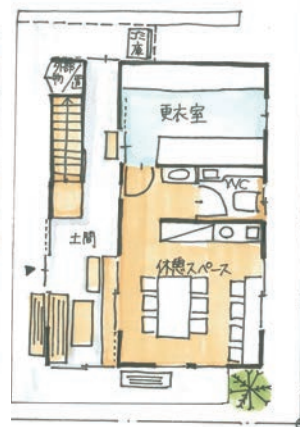
交流のしやすいスタッフ棟

□休憩スペース

数人で会話をしながら食事等が行えるダイニング空間と、窓際に個人で利用できる机を配置した、女性スタッフだけが利用する閉じた休憩スペースとなっています。

□外部空間

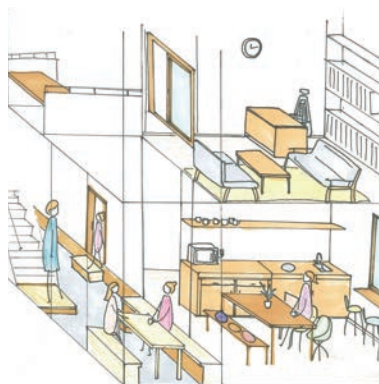
軒下はスタッフの外に開いた休憩スペース、診察後に迎えを待つ患者さんの居場所として利用できます。



1階平面図



2階平面図



土間・休憩スペース・副院長室

1・2階が緩やかに繋がる

1階土間の上部は吹抜けになっています。吹抜けに面して副院長室の開口部があるため、窓を開けると1階の楽し気な声が聞こえ、適度な距離感で繋がることができます。

□吹抜け

土間と繋がる扉を開けると、少し腰を掛けてお茶ができるようなスペースがあるため、スタッフ同士で打合せをしたり、2階に設けた副院長室に行き来する副院長と会話をすることができま。

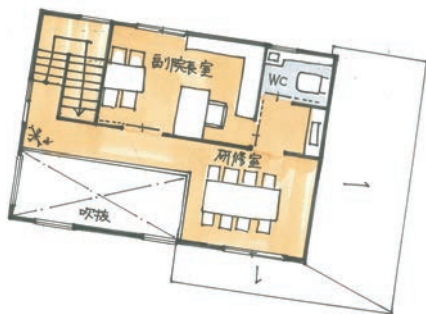
□研修室

2階に設けた研修室は、集中できるよう閉じた空間としています。研修室の前には研修会の準備をしたり、一人で集中したいときなどに利用できる机スペースがあります。

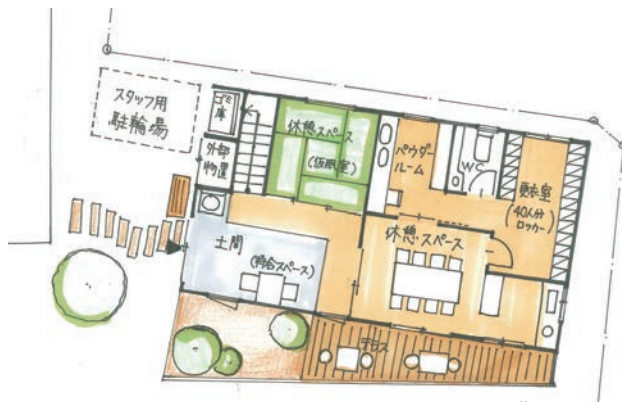


外観パース

外のベンチに腰かけ、迎えを待つ患者さん



2階平面図



1階平面図

思い思いの過ごし方ができるスタッフ棟

□ 休憩スペース

室内の休憩スペースは大きく2つに分かれています。

1つ目は数人で利用できるダイニング空間です。ミニキッチンで簡単な調理をすることもできます。

2つ目は、畳が敷かれ、外の自然を眺めたり、心地良い風を感じ寝転がりながら仮眠をとることのできる静かな空間です。

この2つの休憩スペースが大きな土間を挟み繋がっています。

□ 吹抜け

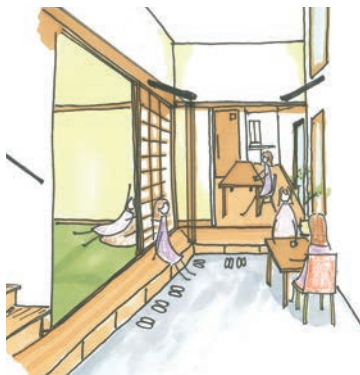
2階に設けた副院長室、研修室が閉鎖的にならないよう、吹抜けを設けています。1階の広々とした土間空間には机と椅子を置き、待合スペースとして利用をしたり、隣接する休憩スペースの扉を開き、勉強会を開くことができます。この吹抜けがあることによって、どこにいても、柔らかな人の気配を感じることができます。

□ 外部空間

休憩スペースに隣接してテラスを設けています。天気の良い日にはここで昼食をとったり、外の空気を吸い、気分転換をすることができます。

□ 診察室とスタッフ棟

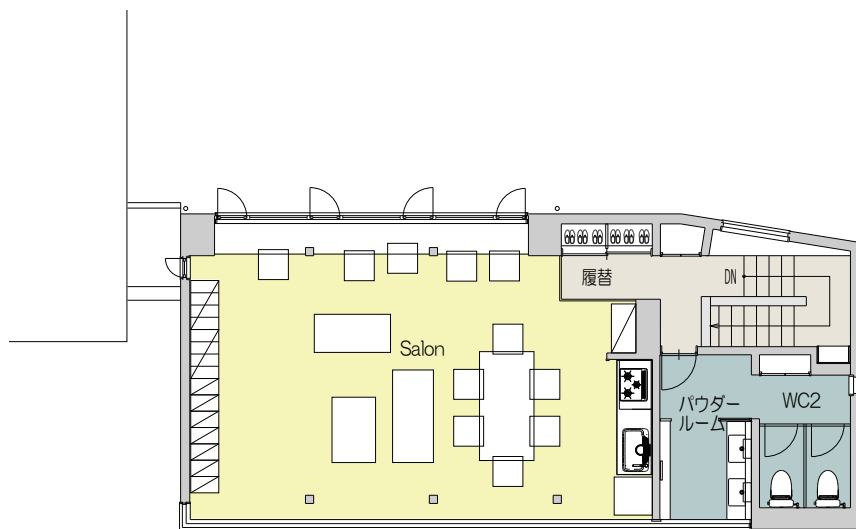
仕事場から休憩場、休憩場から仕事場へのオンオフの切り替えができるように、診察室とスタッフ棟を繋ぐ外部空間には、植栽やベンチを設けています。



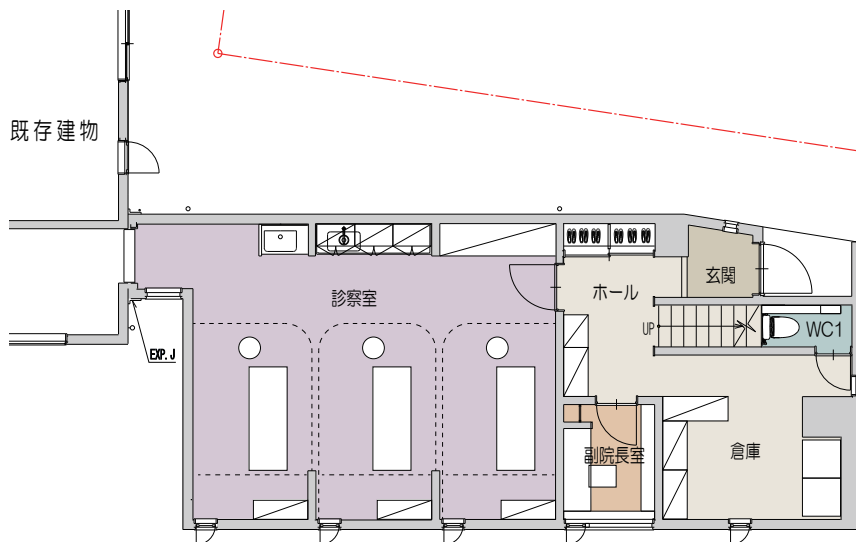
1階土間から休憩スペースを見る
様々な過ごし方ができる空間



2階研修室
吹抜けに面した開放的な空間



2 階平面図



1 階平面図

子育て世代も含め、多様な働き方の受け皿となり
スタッフにとって安心できる場所をつくりたい
それをSalonと名付ける

松本理事長



2階 Salon パース

右図は、設計統括 木下の設計した、今回実現するスタッフ棟です。

計画を進める中で、1階は将来拡張用の診察スペースを設けることになりました。また、1階2階とも空間に多様性をもたせるため、部屋を細分化せず、大きなまとまったスペースにすることとなりました。

建物の右半分は階段やWCなど、構造上コアとなる部分を集約し、左半分を大きな空間としました。2階のSalonは、家具やカーテンで使い方に応じて空間を分節し利用します。

私も木下チーフのもとで、設計、監理を担当しました。

1階に診察室を計画することになったので、私の提案した土間空間はなくなりましたが、2階Salonでは、家具のレイアウトを工夫し、スタッフが緩やかに繋がるができます。

小学生のころから

夢見ていた建物をつくること、それが実現していきます。

医療福祉施設のプロフェッショナルが 利用者の思いを具現化する。

ゆう建築設計は医療福祉の分野で、建物を利用する利用者や介護・支援・看護をする人たちに役立つ工夫を行い、医療福祉分野が持つ社会的役割に寄与することを会社が存在する意味としています。

ゆう建築設計として医療福祉の分野で独自の多くのノウハウを開発し、それらのノウハウは積極的に開示しています。特に建築からあまり検討が進んでいない分野について取り組んでいます。医療分野では「透析」「精神科」「中規模病院」福祉分野では「障がい者」「高齢者」です。

建築から役立つには、建物を建てるのが前提となります。依頼をいただいた各案件にはゆう建築設計の建築家が担当者となります。ゆう建築設計が持つ深いノウハウは担当者に共有されていますが、建物を具体的に決めるのは各担当建築家の役割となります。

そのためゆう建築設計の各建築家はそれぞれの建築に立ち向かう思い、建築の技術などを各自が高いレベルに保ち続ける強い思いを持っています。形への感性は皆違います。ゆう設計の建築家は利用者の思い、建築への思いをそれぞれの感性の中で実際に建つ建物に具体化していきます。

この時空読本ではその一步を踏み出した建築家の一人を紹介します。

株式会社ゆう建築設計 代表取締役 砂山憲一



木下チーフと打合せ

小林 宥見佳

Yumika Kobayashi

静岡県出身

2020 年

京都建築大学校建築科二部

京都美術工芸大学工芸学部建築学科

入学

2022 年

京都建築大学校建築科二部

卒業

2024 年

京都美術工芸大学芸術学部建築学科

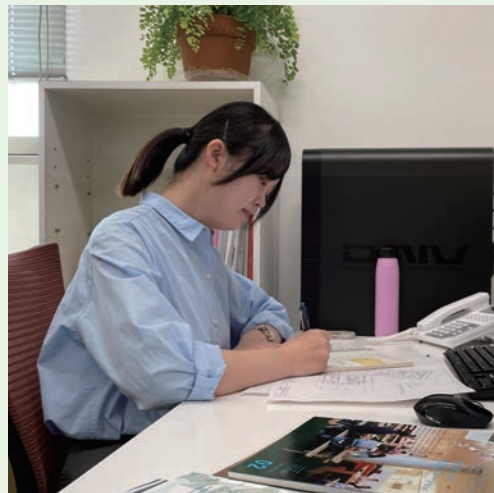
卒業

2024 年 4 月

ゆう建築設計入社



京都の街を散歩



事務所でスケッチ

株式会社ゆう建築設計

<https://www.eusekkei.co.jp/>

■ Kyoto Office

京都府京都市中京区堀川通錦小路上ル四坊堀川町 617 番地

TEL : 075-801-0022

FAX : 075-801-8290

■ Tokyo Office

東京都港区芝大門 1 丁目 4-8 浜松町清和ビル 7F

TEL : 03-6721-5430

FAX : 03-6721-5431

E-mail : office@eusekkei.co.jp

卒業設計

「よき生を学ぶ - ワークショップを用いた脱施設化提案 -」

鳥瞰パース

